

satokai-farm おれぜんつ☆=

ジ〜ン (zine) な店 (shop)

プロフィール〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜



simesabaaa

自分の感覚や記憶を視覚化し、それを人にまとわせることで新たな関係を築くことを試みている。現在は「抱きしめる」をテーマに活動中。

<https://instagram.com/simesabaaa>

ジ〜〜ン

- ・「sabachan」
- ・「〇」

インタビュー〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

—「sabachan」ってどんなZINE？

「sabachan」は、以前上製本で作った作品集をもっとラフに手に取ってもらいたいと思ってつくったZINE。モノ自体もそうだし、中身もビジュアルとして楽しめるものにしたいと思った。作品自体は自分と家族との関係性をテーマにっていて、実家にあった昔の写真を素材に色々な表現媒体を使って表現しているもの。写真をプリントして綿を詰めたぬいぐるみのようなものを作ったり、VR作品として3D空間の中で構成してみたり。形を変えながら、自分自身をより良い方向へ持っていっているという感覚かな。それで作り続けていくうちに、自分のことや作品の背景を知らない人にアートピースとして気に入ってもらえることが増えてきた。自分の作品はテーマとしては割と重いものだ

と思っていたから、そんな風にも捉えてもらえるんだ！と驚いた。でも同時に、自分自身も割と分脈を知らないまま「モノとしていいな」という感覚で作品を好きになることも多いなと。だから今回のZINEを通して、ビジュアルを入り口に何か引かかるものがあればいいなと思ってる。

—「〇」ってどんなZINE？

「〇」はテキストベースのZINE。私、SNSとかで知らない人のログとか日記をみるのが好きなんだよね。知っている人の文章はその人を思い浮かべながら読む良さがあるけど、知らない人だと、知らないからこそ純粋に文章だけをみて「いいな」と思える。自分のパーソナルな文章も、そういう風にだれかに受け取ってもらえたらいいなと思った。そして、それをアウトプットする媒体としては、SNSではなくZINEがいいと思った。SNSは私の中で、自分の目の前にある「掲示板」のようなものに投稿がずっと張り出されている感覚があって。いろんな人に読んでほしいと思う反面、自分と切り離せないことへの怖さを感じる。自分と近すぎる。そういう意味でZINEは、ページをめくらないと読めないから少しハードルがある。その距離感が心地いいのかもしれない。

—ZINEのどんなところが好き？

もともと表現方法にはあまりこだわりがなくて。それぞれの表現の良さがあると思ってるから、伝えたいことに対して一番合う方法をその都度見つけていく感覚かな。自分であまり意識してるわけでもなくて、自然とそうやっている。でも本は、自分の中で特別な存在かな。私はもともとファッションを学んでいたの、作るとしたら「服」だったのだけど、コロナ渦で自分が一番苦しかったのは服を見に行けないことではなく、本屋さんに行けないことだったんだよね。服か本か、どちらかしか買えないとしたら、自分は本を選ぶ。っていうことに気づいてからは、本を作ることに意識が向いているかな。本が好きになったそもそものきっかけは、私は一人っ子で、小さい頃からずっと本を読んで過ごしていたからだと思う。本を読んでいる間は本が自分だけに向けて語りかけてくれて、それを自分の時間で噛み締められる。自分と本との一対一の関係性に安心感があったんだと思う。そういう意味でZINEは、自分にとって居心地がいい存在。

